

本リリースは 2021 年 7 月 8 日、フランス リュエイユ・マルメゾンにて発表されたプレスリリースの抄訳です。

報道関係者各位

2021 年 7 月 26 日
シュナイダーエレクトリック

シュナイダーエレクトリック、2021 年 のマイクロソフト サステナビリティ チェンジメーカーパートナーオブザイヤーを受賞

- ・ シュナイダーエレクトリックの長年にわたるサステナビリティへのコミットメントと、顧客の SDGs 実現を後押しするデジタルソリューションを評価
- ・ シュナイダーエレクトリックはマイクロソフトと協力し、JLL やブラックストーンなどの顧客の脱炭素化推進と達成を支援
- ・ シュナイダーエレクトリックとマイクロソフトの 30 年におよぶグローバル規模のリレーションと、持続可能な未来に関する両社共通のビジョンを反映

2021 年 7 月 8 日、リュエイユ・マルメゾン（フランス）－エネルギー・マネジメントおよびオートメーションにおけるデジタルトランスフォーメーションのリーダーであるシュナイダーエレクトリックは、2021 年 のマイクロソフト サステナビリティ チェンジメーカーパートナーオブザイヤーを受賞したことを発表しました。この賞は、シュナイダーエレクトリックがマイクロソフトの技術を基盤とするシュナイダーエレクトリックの主力ソフトウェア・ソリューション EcoStruxure™を使用し、お客様の脱炭素化の目標設定と達成を支援してきた実績を評価し表彰するものです。

シュナイダーエレクトリックは 2018 年から 2020 年までに、顧客が CO₂ 排出量を 1 億 3,400 万トン削減するのを支援し、その削減量は 2021 年第 1 四半期末までに 2 億 7,600 万トンに達しました。シュナイダーエレクトリックグループは 2 月にコーポレートナイスが発表する世界で最も持続可能な企業に選ばれ、気候変動に対する企業の目標設定とその達成を支援しています。シュナイダーエレクトリックは、マイクロソフトの Azure を活用した EcoStruxure™ソリューションのポートフォリオを通じて、企業が科学的根拠にもとづいた脱炭素化目標の設定、達成、測定、報告をできるように支援するとともに、企業の最終収益に好ましい影響を与えています。

シュナイダーエレクトリックのエネルギー・マネジメント担当エグゼクティブ・バイスプレジデントである Philippe Delorme は次のように述べています。「2021 年 のマイクロソフト サステナビリティ チェンジメーカーパートナーオブザイヤーを受賞したことは、当社が気候変動に対応するためにマイクロソフトと推進している取り組みが認められたことを意味しています。この協力関係は高く評価されており、今後は EcoStruxure™ Traceability Advisor という共同イノベーションおよび共同販売の新ソリューションの展開に取り組んでいきます。このソリューションは、両社に共通するお客様が 360 度レジリエントで追跡可能なサプライチェーンを構築できるよう、バリューチェーン全体にわたって大量のデータを利活用できるようにします。コーポレートナイス社に選ばれた世界で最も持続可能な企業である当社は、未来がグリーンかつスマートな、People Centric（人中心）で再生エネルギーを利用したものになると考えています。当社が今後も製品を拡大し、マイクロソフトとの 30 年にわたるリレーションを強化し、共に持続可能な未来を構築していくにあたり、当社の使命をパートナー各社が共有してくださっていることに身の引き締まる思いです。」

シュナイダーエレクトリックがマイクロソフトと協力して支援した顧客の一つが、世界最大級の不動産所有企業である JLL です。JLL は、自社の投資ポートフォリオ全体にわたってカーボン・フットプリントを削減とともに、エネルギーおよびサステナビリティに関する実用的なデータを取得するという意欲的なコミットメントを掲げています。

JLL のコーポレート不動産およびワークプレース担当アジア太平洋地区責任者である Darren Battle 氏は次のように述べています。「シンガポールにある新しいアジア太平洋本社では、シュナイダーの EcoStruxure™ for Real Estate ソリューションにより、未来のワークプレースの構築という当社の意欲的な目標を実現するために、スマートな IoT 技術を活用しています。このソリューションによって当社は、本社で勤務する従業員の福利厚生を向上させ、エネルギー消費を 30% 削減し、持続可能な形で建物全体の価値を高めています。」

シュナイダーエレクトリックはこのたびの受賞において、世界最大級の未公開株式投資会社であるブラックストーン向けに総合的なエネルギー管理およびサステナビリティの戦略を策定したことについても、マイクロソフトから評価されています。シュナイダーエレクトリックは、個々の拠点から地域横断型のセクションに至るまで、ブラックストーンのポートフォリオのあらゆるレベルにおけるエネルギーおよびユーティリティのデータの収集と正規化のために、主力の ESG ソフトウェア・ソリューション [EcoStruxure™ Resource Advisor](#) を導入しました。

ブラックストーンは Resource Advisor のデータによって、ユーティリティなどのサプライヤーと契約内容を交渉でき、最低料金で適切なエネルギー供給を受けられます。また、このデータはセクターごとのスコアカード作成にも利用されています。スコアカードは自動的に更新され、重要な KPI にわたってプログラムへの参加を促します。これによりブラックストーンは、サステナビリティの取り組みや戦略的なエネルギー調達が可能になり、エネルギー消費において数千万ドルを節約できました。ブラックストーンは 2020 年 9 月に、同社ポートフォリオのあらゆる資産の購入や企業買収から 3 年以内に CO₂ 排出量を 15% 削減するという目標を設定しました。シュナイダーエレクトリックのソリューションは、ブラックストーンがこの目標を達成する上で重要な要素となっています。

サステナビリティの分野で 15 年以上のリーダーシップを誇るシュナイダーエレクトリックは、2050 年までに同社のバリューチェーン全体でネットゼロを達成することを目指して取り組んできました。今年は、主要サプライヤー 1,000 社が 2025 年までに CO₂ 排出量を 50% 削減できるよう支援する意欲的な新プログラム「ゼロ・カーボン・プロジェクト」を導入しました。

マイクロソフト パートナー オブ ザ イヤーの詳細は、[こちら](#)をご覧ください。

Schneider Electricについて

シュナイダーエレクトリックは、あらゆる人がエネルギーと資源を最大限活用することを可能にし、世界の進歩と持続可能性を同時に実現することを目指しています。私たちはこれを「Life Is On」と表現しています。

私たちの使命は、持続可能性と効率性を実現するためのデジタルパートナーになることです。

世界をリードするプロセス技術やエネルギー技術と、エンドポイントとクラウドをつなぐ製品、制御機器、ソフトウェアやサービスとを、ライフサイクル全体を通して統合し、その統合された管理を住宅、ビル、データセンター、インフラストラクチャ、各種産業に展開することでデジタルトランスフォーメーションを推進します。

私たちは、最もローカルなグローバル企業です。社会にとって意義深い目的を持ち、多様な意見を取り入れ自ら行動するという価値観を持って、オープンスタンダードとパートナーシップエコシステムの拡大に尽力します。

www.se.com/jp

Discover Life Is On

Follow us on:      

Hashtags: #LifeIsOn #Sustainability #MSInspire #MSPartner #PartnersMakeMorePossible